

〈 I C T 教育：高等学校 英語〉

発信力を伴う英語力を育成する授業づくりの工夫

—— I C T を活用し、「話すこと」を意識した学習指導を通して——

沖縄県立浦添高等学校教諭 池 間 睦 子

I テーマ設定の理由

「Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment (外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠)」(以下、C E F R)において、言語能力を文法等の知識の豊富さではなく、実際の「聞く、話す、読む、書く」ことができる実用的な技能の達成度と運用力として重視し、国際的な基準として汎用している。さらに、文部科学省「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」(平成 25 年)において、これまでの英語 4 技能「聞く」「読む」「話す」「書く」(以下、4 技能)が、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やりとり)」「話すこと(発表)」「書くこと」の 4 技能 5 領域(以下、5 領域)へと見直され、「話すこと」の強化が示された。

全国高校 3 年生対象、「生徒たちの英語力と学習状況に関する英語力調査」(平成 29 年)(以下、英語力調査)において、「4 技能のバランスに課題があり、特に話すこと、書くことは全体的に低く、無得点の割合も一定数いる状況である」との結果が示された。「話すこと・書くこと」という技能は、それを使って、情報を整理し考えをまとめ、表現し伝える技能であり、それが英語発信力だと考える。松本(2016)は「英語発信力とは、語るべき内容を自分が持っていて、相手にそれを英語で分かりやすく、興味深く伝えられる能力である」としている。急速なグローバル化の下、国家、地域、民族の交流は、英語を共通語とする度合いを高くし、ある一程度の英語を使用し、対話することが、当たり前という時代を生徒たちは迎えている。英語を発信する力は今後、必要不可欠なスキルとなるだろう。新学習指導要領においても、統合的な言語活動を通して、情報や考えを理解し、表現できる活動をより一層充実させるとともに、発信力の更なる強化が予定されている。

私はこれまで、4 技能統合型の言語活動に加え、生徒たちが主体的な学習に取り組めるよう、教科書内容を題材としたクイズや映像など、I C T の特性を取り入れた指導の工夫をしてきた。しかし、生徒たちは活動実践を通して、「英語が話せる」という学習成果を実感できていない。また本校では、半数以上の生徒が大学へ進学をする。そのため、生徒の多くが英語学習の重要性を認識し、真面目に学習に取り組んでいる。しかし、英単語の綴りや意味、リスニングや英文を読んで、その内容の知識理解を問う学習は得意とするが、既習の語彙や文法を使用し、情報を整理し考えをまとめ、発表する学習は苦手である。学習したことを自分の考えや経験と重ね、英語で伝え合うという発信力を強化する活動へ発展させることが課題であると考え。

そこで本研究では、従来どおりの単元内容について、知識理解を深めるとともに、アウトプットに特化した学習アプリケーション(以下、アプリ)を活用し、学習したことをプレゼンテーションやリテリングで発信する。さらに、Web 会議ツールを活用し、遠隔交流学习を行うことで、教室にいながら、米国高校生との実践的な英語コミュニケーションの場を設定する。その結果、英語を「習得してから使う」から「習得しながら使う」というプロセスを実践する。さらにオンライン学習により、時間や場所を問わない学びの継続と学習状況のデジタル管理により、主体的な学びを促し、「英語発信力」の強化につながることを検証する。

〈研究仮説〉

学習したことを英語で発信する授業、実践的なコミュニケーションの場において、I C T を活用し、「話すこと」を意識した学習活動を行うことにより、自分の考えや意見をまとめ、英語で伝えることができる、発信力を伴う英語力を育成することができるだろう。

Ⅱ 研究内容

1 理論研究

(1) 英語発信力とは

発信力とは、コミュニケーションの中で自分の考えを伝える力である。生前、スティーブ・ジョブズは情報発信について、「いくら素晴らしいものを作っても、伝えられなければ、それは存在しないのと同じである。」という言葉を残している。英語学習においても、伝えたいことを言葉にして伝えることは重要であり、学んできた語彙や文法を活用し、自分の思いや考えを発信、伝えることが重要であると考えます。

4技能は「Reading」「Listening」のインプットと「Speaking」「Writing」のアウトプットに大別される。インプット学習は「情報収集」であり、アウトプット学習は「情報発信」である。語彙表現、文法等のインプット学習により、収集蓄積された知識を言葉や文字で発信するアウトプット学習で、総合的な力を身に付ける。それが、新学習指導要領で求められる「統合的な言語活動の充実と共に強化される発信力」であり、それぞれの技能における相互作用

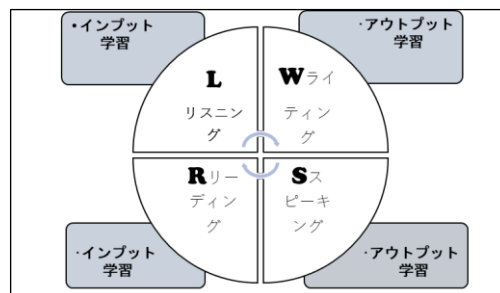


図1 英語4技能の相互作用

(図1)である。本研究では、インプットされた知識情報を基に生徒自身が考えたこと、感じたことを言葉として、能動的にアウトプットする学習指導の工夫を行う。

(2) 新学習指導要領における英語発信力について

英語成果目標、「CEFR A2 レベル以上達成50%」のもと実施された、文部科学省全国高校3年生英語力調査において、4技能達成状況は「31.9%」であった。特に発信能力である「話すこと」では、2015年度「12.8%」、2017年度「12.9%」(図2)と全体的に低く、さらに無得点割合において、2015年度「14.4%」、2017年度「18.8%」と一定数いることも示された。同調査によると「英語でスピーチやプレゼンテーションをしていた」と回答した生徒は36.9%にとどまっていることから、生徒たちは「学習した知識・技能が、実際のコミュニケーションに

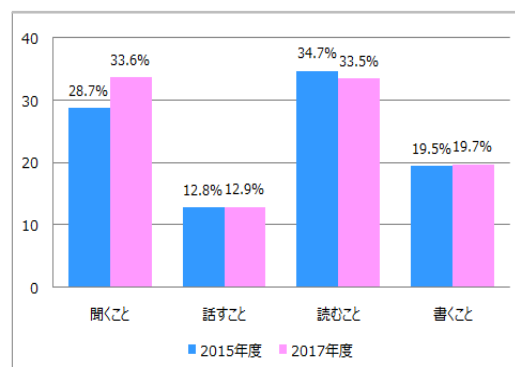


図2 高校生「話す」能力(CEFR)

出典 平成29年度英語力調査結果(高校3年生)概要

関連付けられた活動の不足を理由に伸びていないのではないかとされている。平成30年告示高等学校学習指導要領解説外国語編において、外国語の目標は、次のように設定されている。「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。」これは外国語を通じて、実際の目的や状況に応じた「コミュニケーションツールとしての英語」の運用を意味する。2022年から順次実施される高等学校新学習指導要領において、ディベートやディスカッションを通して発信力を高める「論理・表現」科目も新たに設置される。新学習指導要領の下では、従来の知識を問うテストの得点に結びつく技術に加え、生徒自らが持つ考えを具体的に分かりやすく伝え、発信できるように、実践的な英語を使用することが強化される。そこで、本研究では、学習で得た知識技能を目的や状況に応じた活用により、実際のコミュニケーションの場において、自身が持つ考えを分かりやすく伝えることができる力を発信力として捉え、4技能の中で、「話すこと」を意識した学習指導の工夫を行う。

(3) 英語発信力育成のためのICTを活用した3つの学習の型

2014年文部科学省国際教育課「英語教育におけるICT活用」によると、ICT活用の利点として次の3つ(表1)が挙げられる。「1. 英語に対する興味関心を高めるために、アプリや動画等のコンテンツを授業に取り入れることで、個々の能力や個性に応じた学びが可能になる。」「2. オンライン活用により、学習をデジタル管理、学校と家庭を結んだ学びの継続と各自の進捗状況を確認できる。」「3. コミュニケーションツールを活用した海外との交流学习では、ICT機器の利点を最大限に活用し、学習効果を高めることが可能となる。」

本研究では、ICT活用の利点を関連付けた3つの学習の型を実施、検証する。

表1 英語教育におけるICT活用の利点

1. 英語に対する興味関心を高める
・動的・インタラクティブなコンテンツの提供 ・1人1人の能力や特性に応じた学びが可能
2. 進捗状況確認・課題解決に役立つ
・デジタルなログ管理 ・家庭学習・他学校との連携
3. 学習効果を高める
・ネイティブ音声による教材 ・コミュニケーションツール等の活用により 他地域・海外との交流学习

① 英語に対する興味関心を高めるためのインタラクティブコンテンツの活用について

学習アプリ Seesaw は、学習し理解したことを表現する場であり、表現したことを生徒間、教師とのフィードバックやシェアを通じた相互作用により、主体的な学びへと活用できるコンテンツである。生徒は教材や課題をそれぞれの個人端末を使用し、写真、ビデオ、描画、ノート、リンク、ファイルの6つの方法で提出(投稿)するのが特徴である(図3)。その操作は直観的であるため、扱いは容易である。教師側も投稿されたものを文字と音声でフィードバックや評価ができ、双方向でのやり取りが可能となる。4技能調査において、生徒たちは学習した知識・技能が、実際のコミュニケーションに関連付けられた活動、表現する経験の不足が課題として指摘された。その解決のための活動として Seesaw を使い、サマリーやリテリング、そしてプレゼンテーションなど、目的に応じた発表、表現活動を行う。学び、理解したことを自分の言葉で説明する場が増えることで、発信力を伴う英語力に結び付くと考えられる。



図3 Seesaw 課題の提出方法

② 進捗状況・課題解決のためのオンライン学習について

オンライン学習の利点は、生徒の個人端末等を使用することで、家庭学習や隙間時間を利用し、授業外でも英語力習得に必要な時間の補填が行えることである。また、時間や場所に縛られない学びが可能となることも、利点の1つと考える。ここでは、①で取り上げた Seesaw の「教育用SNS」「デジタルポートフォリオ」としての活用を行う。

これまで紙ベースによる課題は提出後、全員で一斉に共有し閲覧することは困難であった。教育用SNSとしての Seesaw は、生徒が課題の作成、記述、録音を行い投稿、その後すぐに全体での共有と閲覧が可能となる。生徒たちは、お互いの投稿内容について、閲覧、受容、承認することにより、さらに多くの英語に触れ、新たな言語情報を得ることが可能となる。さらに教師や級友から承認を得ることで、よりクオリティの高い投稿を目指すことが予想されるだろう。また、デジタルポートフォリオでは投稿された課題を保存できることから、生徒は学習の過程を自ら分析、評価できる。Seesaw は、自らの英語力を発信する場であり、それをクラスで共有することで、級友からの受容、承認、そして自己の評価と分析につながり、最終的には、生徒の主体的な学びができるアプリであると考えられる。

③ 遠隔交流学习について

英語教育の場において、教室にいながら、海外の生徒とやりとりができる遠隔交流学习は重要である。ICTを活用した遠隔交流学习は、全ての生徒が英語によるリアルなコミュニケーションを体験し、「情報を整理し考えをまとめ、表現し伝える技能」という「英語発信力」を強化する実践の場であると考え。検証授業では、米国カリフォルニア州ファウンテンバレー高校（以下、FVH）とWeb会議ツールZoomを活用し、交流授業を行った。本校の生徒2名とFVH生徒1名のブレイクアウトルーム^{*1}では、単元で扱う「制服」についての意見交換、スキットを行った。言葉のやり取り、相手の表情やしぐさに反応する等、実際のコミュニケーションと変わらない場面を作り出せた。自分の伝えたいことを伝え、相手からの発信に熱心に耳を傾け、主体的に英語でコミュニケーションを図ることができると考える。

(4) 到達目標 CAN-DO リストとルーブリック評価表について

英語学習において、語彙や文法等の知識量に重きが置かれるのではなく、学んだ知識や技能が実際のコミュニケーションで活用され、定着することが重要である。また、その過程で目標とする「英語を使ってできること」を生徒が意識し、学習することが必要である。文部科学省「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」（2011）において、「学習到達目標 CAN-DO リスト設定」が提言された。CAN-DO リストとは「英語のできる行動」をリスト化したもので、そこには各技能について、能力の習熟度を表すレベルごとに「英語のできる行動」が記されている。本研究では、「英語で何が発信できるようになるか」という到達目標を「CAN-DO リスト」（表2）で提示する。さらに、生徒の英語発信力の評価とその根拠を示すために、「ルーブリック評価表」（表3）を使用し、パフォーマンステストを実施する。評価項目（English・Content・Presentation Skill）と文章でレベル分けをし、それぞれの項目に対して評価対象のパフォーマンスが、どのレベルに当てはまるかを評価する。また、事前提示することで、生徒はルーブリックに沿って課題に取り組むことができ、ルーブリックで高得点をとることを目指すことが、より質の高いパフォーマンス、発信を伴う英語力につながると考える。

表2 Lesson 3 School Uniforms CAN-DO リスト 出典 Revised LANDMARK E.C.1 Teacher's Manual（啓林館）

読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
本文を声に出して、読むことができる	本文を聞いて概要や要点を捉えることができる	語彙や文法事項を含む文を完成させることができる	英語の質問に対し、自分自身のことを話すことができる
本文を読んで概要や要点を捉えることができる	本文に関連する文を聞いて理解し、正誤を判断できる	要約文の空欄に適語を当てはめて書くことができる	本文に関連して、自分の言葉で内容、要点について話すことができる
文法事項を含む文を読んで意味を理解できる	他者が話すことを聞いて内容を理解することができる	質問に対する答えの文を書くことができる	本文に関連して、必要な情報を含め、自分のことを話すことができる
質問の答えを捜しながら本文のスキミングができる	本文に関連する文を聞いて要点をまとめることができる	本文に関連して、自分のことを書くことができる	本校の制服や外国の制服、制服の是非について会話することができる

表3 実際に使用したルーブリック

Criteria	English			Content		Presentation Skill	
	Vocabulary New words, phrases	Speaks clearly Pronunciations, accent	Number of the words	Content Detail	Originality Students' own ideas	Fluency Volume	Preparedness No prepared sheet
5 Great	6-10 new words and phrases used.	Speaks clearly and can be easily understood. No mispronunciations	60-100	Full understanding of the topic. Ideas are strong and support the topic.	Ideas are original and relevant to the topic.	Speech is smooth and fluid: few to no hesitations, no attempts to search for words. Volume is clear	Completely prepared and has obviously rehearsed.
3 Good	2-5 new words and phrases used.	Speaks somewhat clearly and can mostly be understood. Some mispronunciations	30-59	Good understanding of the topic. Ideas are good and somewhat support the topic.	Ideas are somewhat original and relevant to the topic.	Speech is relatively smooth but some hesitations and searching for words. Volume wavers.	Prepared, but might have needed a couple more rehearsals.
1 Poor	Fewer than 2 new words and phrases used	Often mumbles or cannot be understood. Several mispronunciations	1-29	Little to no understanding of the topic. Ideas are weak and/or do not support the topic.	Ideas are unoriginal and/or not relevant to the topic.	Speech is slow and exceedingly hesitant. Volume is inaudible.	Somewhat prepared but it is clear that rehearsal was lacking

^{*1} Zoom ミーティングにおいて、参加者を少人数のグループに分けてミーティングを行える機能

2 実態調査

沖縄県立浦添高等学校 1 学年 9 クラスを対象に Forms による調査を行った。調査対象者は 360 名、そのうち、349 名からの回答が得られた。

(1) スマートフォンとネット環境、学習アプリの使用について

生徒個人端末（スマートフォン）の所有率は 1 学年全体で 346 名（99%）、検証授業を行う 2 クラスにおいては、80 名全員が所有していると回答した。また「自宅におけるインターネット接続環境」については 77 名（96%）が「インターネット接続環境が整っている」と回答した。また、「アプリを使って学習をしたことがあるか」という質問には 47 名（59%）が「はい」と回答した。この結果から、Seesaw 以外にも多くの学習アプリを活用し、授業中に英語を発信する場を与えることができると考えた。

(2) 英語学習について

「英語の勉強は大切だと思うか」について調査したところ、281 名（81%）が「大切である」と回答した。「どのような英語学習が大切だと考えるか」（複数回答）について、最も多かったのが「自分の考えや意見を英語で伝えることができる」（209 名）であった。次に「単語の意味を覚える」（195 名）、「英語をたくさん聞いて、何を言っているのか、分かるようになる」（176 名）であった。この結果から、生徒たちが「英語で何かを発信すること」を重要視していることが分かる。そこで、ICT を活用し、「自分の考えや意見を英語で伝えられる」という場を設定し、生徒に英語を「話すこと」を意識させることで、発信力を伴う英語力育成を図りたい。

(3) これまでの授業・言語活動における英語使用率について

検証を行う 1 年 8 組（40 名）において、入学時「授業における英語使用率」について、調査を行った（図 4）。「授業・言語活動の 70% で英語を使った」は全体の 8%（3 名）で、「50～70% で英語を使った」は 35%（14 名）であった。約 4 割の生徒が、英語授業において、「英語使用率 50% 以上」と自己評価している。中学校の英語の授業で、発話を伴う活動が多く実施されていたことが分かる。また、残りの 6 割に近い生徒について、活動の場は設定されているものの、「英語に自信がない」「間違っているかもしれない」など、英語を話すことへの心理的な障壁があると考えられる。

81% の生徒が『自分の考えや意見を英語で伝えることができる』と回答していることから、「英語に自信がない」という生徒たちも同様に考えていると予測される。本研究では、40 名全ての生徒が ICT を活用した「話すこと」を意識した学習指導を通して、授業・言語活動における、生徒の英語使用率の向上を図りたい。

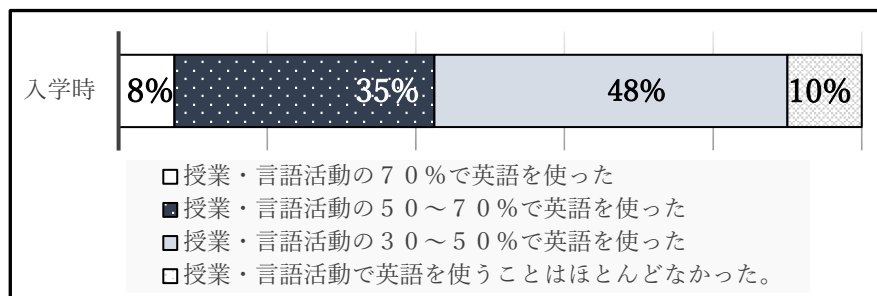


図 4 授業における生徒英語使用率（入学時）

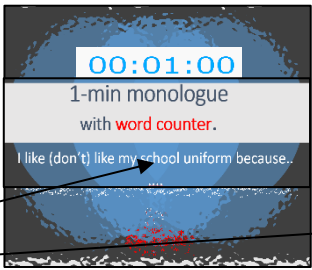
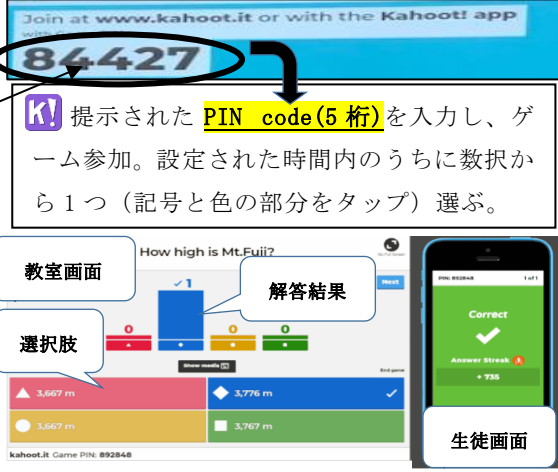
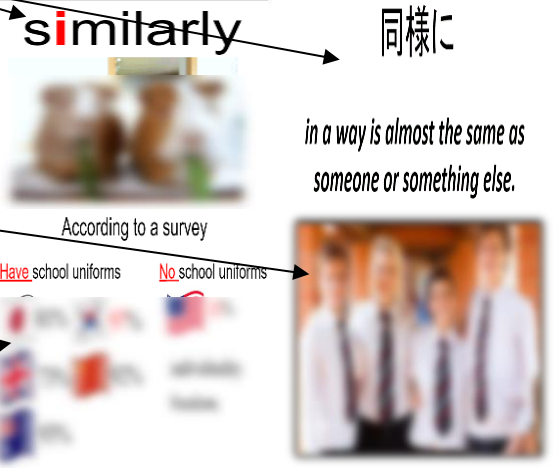
Ⅲ 指導の実際

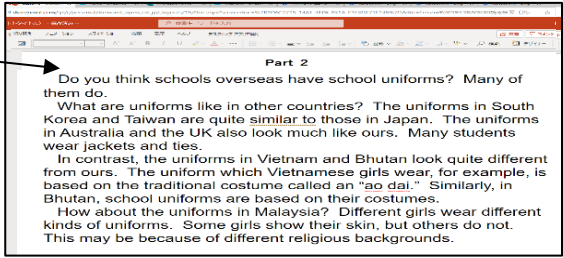
1 単元名 Lesson 3 School Uniforms (Revised LANDMARK English Communication I 啓林館)

2 単元目標

- (1) 日本における制服の現状や制服への意識について考える
- (2) 海外の制服事情について、日本との違いや、その背景にある文化について考える。
- (3) 海外 6 カ国の制服採用に対する意見の違いを理解する。
- (4) 海外 6 カ国の制服採用について読み、それぞれの比率の背景にある理由を理解する。
- (5) 制服の賛成反対理由について、自身の考えをまとめ、ペアで共有できる。
- (6) 関係代名詞、SV 疑問詞節・SVO 疑問詞節の表現を理解する。

3 ICTを活用した授業のパターン

	学習活動（○生徒■教師）	ICT 活用（○生徒個人端末●教師用端末）
導入	■帯活動（スピーキング活動）：Pencil Bomb / 1 min monologue with word counter スライドでモノローグトピックを提示する。同時に1分間のタイマーを表示することで、時間内で話すことに集中させる。 □ペアでトピックについて、即興で1分間話しをする。話し手が発話中は、聞き手は話されている英文の単語数(word counter)を数える。 ■語彙復習：学習アプリ Quizlet を活用する。ペアまたはグループでの語彙練習後、前時の新出単語・熟語の復習をする。暗記だけで終わっていた語彙学習を授業に取り入れ、ゲーム感覚で学びへと向かう姿勢を作る。 □全12問の選択問題。チーム（5～6人）に出される共通の1つの問題に対して、答えを持っているのは一人のみである。スピードと正確性が問われる。 ■本文内容復習：学習アプリ Kahoot を活用し、前時の本文や文法等に関する知識や理解度を確認する。ここでは個人戦を授業に取り入れる。問題毎に回答スピードが速い順に、名前が表示される。また1つ上の人に追いつくために、何ポイントが必要なのかが提示される。勝敗というゲーム感覚を前向きな学習意欲へつなげる。 □PIN code を入力し、2択から4択の時間制限付きの問題を個人で解いてみる。正解したうえに、答えをタップしたまでの時間が早いほど、順位が高くなるので、スピードと正確性、集中力が問われる。	●PowerPoint  ○Quizlet で語彙復習をする  ○Kahoot で内容理解確認をする 
展開	■本時の新出単語・熟語(語彙の視覚化) スライドを活用することで、新出語彙を文字だけでなく、映像(GIF)で意味の提示を行う。その後、日本語と英語の両方で意味の確認により、映像と意味の合致を行う。 ■Pre Reading Activity: 読解前の本文要約を口頭で紹介する。 □読解前の口頭本文要約を聞きながら、Keywords をワークシートに記入し、その内容について推測しながら、ペアで発表する。 ■Post Reading Activity 本文読解後、読解前に行った要約に新たな情報を付け加え、再度ペアで発表させる。	●PowerPoint 

	□読解前要約をもとに、本文内容学習後に得た情報を新たに加え要約し、ペアで発表する。 ■Reading Practice 本文内容理解終了後の、音読練習の1つであるクレジットロールリーディングをする。音読は発音やアクセントなど、音声学習だけでなく、学習した内容の内在化に有効であることから、のちのパフォーマンステストのためにも意欲的に取り組むことができるようにする。	○PowerPoint クレジットロールリーディング  Lesson 3 School Uniforms Part 2 本文
まとめ	■自己評価・確認テスト Forms を活用して、理解度の確認をする。単元で扱う語彙、文法、動画の理解度を確認し、授業導入時の Quizlet・Kahoot につなげることで、知識の定着を図る。 ■パフォーマンステスト Seesaw を活用し、本文を自分のことばで表現する再話（リテリング）をパフォーマンステストとして行う。 〈手順〉 ①本文の内容理解 ②音読による内在化 ③発表メモ作成(Worksheet / Grammarly) ④リテリング(Seesaw) ⑤評価 □上記①②の後、発表内容をワークシートでまとめ、英文校正（Grammarly）し、Seesaw で発信、録画する。 発表英文はペアが語数をカウントする。また提出前であれば、何度でも撮り直しができるため、十分に練習して提出することができる。	

4 単元の評価規準

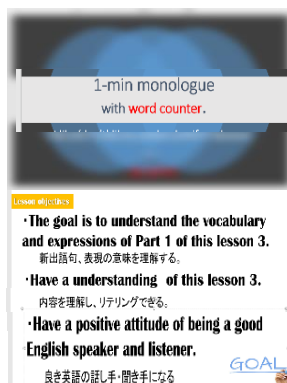
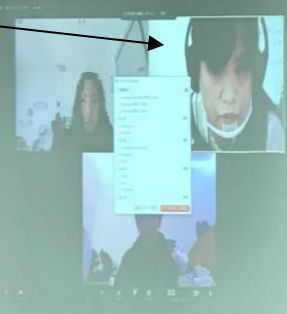
① 知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
単元で扱う音声、語彙、表現、文法、言語の働きを理解し、これらの知識を使い、聞く・話す・読む・書くことができる。	実際のコミュニケーションを行う目的や状況に応じて、情報や考えの概要や要点、話し手や書き手の意図を的確に理解し、表現、伝えることができる。	国内外における制服の現状、背景にある文化に対する理解を深め、制服の是非について主体的にコミュニケーションができる。
評価方法・行動観察 ・ワークシート ・ワードカウンターシート・学習アプリ (Quizlet ,Kahoot, Quizziz,)・パフォーマンステスト (Seesaw, Grammarly)・Forms (理解度チェック)		

5 授業計画（全 14 時間）

時	学習項目・内容	評価規準方法	ICT 活用	学習目標
1	Introduction 単元導入・文法解説	① ③ 行動観察・Forms test	生徒個人端末 PowerPoint	世界制服事情についてイメージを持ち関係代名詞・SV/SVO 関係節を理解する。
2	Part 1 Uniforms are popular among most Japanese students	①ワークシート・行動観察 学習アプリ	電子黒板 Quizlet・Kahoot Quizziz	日本における制服の現状や制服への意識について知るとともに、新出語句、定義、本文概要を理解する。

3	Part 1 Uniforms are popular among most Japanese students	①②行動観察 ワークシート パフォーマンス テスト	Grammarly Seesaw Forms	本文内容を理解し、ループリックをもとに要約を書くこと、リテリングの発表をすることができる。
4	遠隔交流学习① Get to know each other and practice skit	②③行動観察 Forms アンケート	学校設置端末 Zoom breakout room	ファウンテンバレー高校の生徒と実際のコミュニケーションを通して、英語を話す楽しさを体験する。
5	Part 2 School uniforms are similar but others are not.	①ワークシート・行動観察 学習アプリ	生徒個人端末 PowerPoint 電子黒板	制服について、海外と日本の違いやその背景にある文化を知るとともに、新出語句定義、本文概要を理解する。
6	Part 2 School uniforms are similar but others are not.	①②行動観察 ワークシート パフォーマンス テスト	Quizlet/Kahoot Quizziz Seesaw/Grammarly Forms	本文内容を理解し、ループリックをもとに要約を書くこと、リテリングの発表をすることができる。
7	遠隔交流学习② Practice a conversation in English and skit	②③行動観察 Forms アンケート	学校設置端末 Zoom breakout room	ファウンテンバレー高校の生徒と実際のコミュニケーションを通して、英語を話す楽しさを体験する。
8	Part 3 School uniforms are popular in most countries.	①ワークシート・行動観察 学習アプリ	生徒個人端末 PowerPoint 電子黒板	6か国の制服採用について、それぞれの比率の背景にある理由を知り、新出語句定義、本文概要を理解する。
9	Part 3 School uniforms are popular in most countries.	①②行動観察 ワークシート パフォーマンス テスト	Quizlet/Kahoot Quizziz Seesaw/Grammarly Forms	本文内容を理解し、ループリックをもとに要約を書くこと、リテリングの発表をすることができる。
10	遠隔交流学习③ Practice a conversation in English and skit	②③行動観察 Forms アンケート	学校設置端末 Zoom breakout room	ファウンテンバレー高校の生徒と実際のコミュニケーションを通して、英語を話す楽しさを体験する。
11	Part 4 Some students are for uniforms, but others are not.	①ワークシート・行動観察 学習アプリ	生徒個人端末 PowerPoint 電子黒板	制服採用に対する意見の違いを理解するとともに、新出語句定義、本文概要を理解する。
12	Part 4 Some students are for uniforms, but others are not.	①②行動観察 ワークシート パフォーマンス テスト	Quizlet/Kahoot Quizziz Seesaw/Grammarly Forms	本文内容を理解し、ループリックをもとに要約を書くこと、リテリングの発表をすることができる。
13	遠隔交流学习④ Practice a conversation in English and skit	②③行動観察 Forms アンケート	学校設置端末 Zoom breakout room	ファウンテンバレー高校の生徒と実際のコミュニケーションを通して、英語を話す楽しさを体験する。
14 本 時	遠隔交流学习⑤ Sharing the opinion about school uniforms、perform the skit with Fountain Valley High students.	②③ 行動観察 Forms アンケート	学校設置端末 Zoom breakout room	単元のまとめとして、英語で制服について意見交換、スキットの練習を通してファウンテンバレー高校の生徒と実際のコミュニケーションを通して、英語を話す楽しさを体験する。

6 本時の学習指導

	学習内容	学習活動 □生徒 ■教師	指導上の留意点 評価方法	ICT 活用場面
導入 15 分	1. Greeting 2. 帯活動 (1) Pencil Bomb (2) 1-min monologue 3. 本時の目標確認 4. Sharing opinion (PowerPoint)	スピーキングペア活動 ■スピーキング活動におけるトピックの指示をする。 □フリースピーキングで1文1答会話をする。 □ワードカウンターで、1分トークをする。 ■ALTと教師のモデルスピーチを行う。 □制服について賛成・反対についてペアで対面による意見交換をする。	・英語のみで会話を続けることができる。 【思考・判断・表現】 ・会話の中で新出語句、表現を意識して話することができる。	
展開 30 分	1. 遠隔交流学习 (1) Sharing opinion 制服について意見を交換をする (Zoom Meeting) 2) Complete and perform the skit (Zoom Meeting)	■Teams から ZOOM プレイクアウトルーム入室までの流れの確認と、サポートする。 ■58 人の生徒をそれぞれ 20 のブレイクアウトルームに分ける。 ■それぞれの部屋における生徒たちの活動状況を確認し、必要に応じて支援を行う。 □フリースピーキングをする。 □FVH 生徒へ質問をする。 ・Do you have school uniforms? ・I (don't) like my uniforms because…… ・What do you think of my opinion? □パブリカの英語歌詞の発音の練習をする。 □パブリカの歌の練習をする。 □グループ内で歌をとりいれたスキットを演じる。	【思考・判断・表現】 ・FVH 生徒との実際のコミュニケーションにおいて、自分の考えを伝え、相手の考えを知ることができる。 ・制服について必要な情報を含めて、自分自身の考えを伝え、相手の意見を知ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分から主体的に英語で相手とコミュニケーションをとり、フリースピーキング、トピックについての会話、スキットを行うことができる。	  
まとめ 5 分	1. 事後アンケート 2. 自己評価 (後日) (Forms) 3. 動画録画予告 4. あいさつ	□浦添・FVH 事後アンケートを実施する。 ■本時のまとめと今後の日程確認をする。 □ルーム内での最後のあいさつをする。	CANDOリスト 1. (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100) (101) (102) (103) (104) (105) (106) (107) (108) (109) (110) (111) (112) (113) (114) (115) (116) (117) (118) (119) (120) (121) (122) (123) (124) (125) (126) (127) (128) (129) (130) (131) (132) (133) (134) (135) (136) (137) (138) (139) (140) (141) (142) (143) (144) (145) (146) (147) (148) (149) (150) (151) (152) (153) (154) (155) (156) (157) (158) (159) (160) (161) (162) (163) (164) (165) (166) (167) (168) (169) (170) (171) (172) (173) (174) (175) (176) (177) (178) (179) (180) (181) (182) (183) (184) (185) (186) (187) (188) (189) (190) (191) (192) (193) (194) (195) (196) (197) (198) (199) (200) (201) (202) (203) (204) (205) (206) (207) (208) (209) (210) (211) (212) (213) (214) (215) (216) (217) (218) (219) (220) (221) (222) (223) (224) (225) (226) (227) (228) (229) (230) (231) (232) (233) (234) (235) (236) (237) (238) (239) (240) (241) (242) (243) (244) (245) (246) (247) (248) (249) (250) (251) (252) (253) (254) (255) (256) (257) (258) (259) (260) (261) (262) (263) (264) (265) (266) (267) (268) (269) (270) (271) (272) (273) (274) (275) (276) (277) (278) (279) (280) (281) (282) (283) (284) (285) (286) (287) (288) (289) (290) (291) (292) (293) (294) (295) (296) (297) (298) (299) (300) (301) (302) (303) (304) (305) (306) (307) (308) (309) (310) (311) (312) (313) (314) (315) (316) (317) (318) (319) (320) (321) (322) (323) (324) (325) (326) (327) (328) (329) (330) (331) (332) (333) (334) (335) (336) (337) (338) (339) (340) (341) (342) (343) (344) (345) (346) (347) (348) (349) (350) (351) (352) (353) (354) (355) (356) (357) (358) (359) (360) (361) (362) (363) (364) (365) (366) (367) (368) (369) (370) (371) (372) (373) (374) (375) (376) (377) (378) (379) (380) (381) (382) (383) (384) (385) (386) (387) (388) (389) (390) (391) (392) (393) (394) (395) (396) (397) (398) (399) (400) (401) (402) (403) (404) (405) (406) (407) (408) (409) (410) (411) (412) (413) (414) (415) (416) (417) (418) (419) (420) (421) (422) (423) (424) (425) (426) (427) (428) (429) (430) (431) (432) (433) (434) (435) (436) (437) (438) (439) (440) (441) (442) (443) (444) (445) (446) (447) (448) (449) (450) (451) (452) (453) (454) (455) (456) (457) (458) (459) (460) (461) (462) (463) (464) (465) (466) (467) (468) (469) (470) (471) (472) (473) (474) (475) (476) (477) (478) (479) (480) (481) (482) (483) (484) (485) (486) (487) (488) (489) (490) (491) (492) (493) (494) (495) (496) (497) (498) (499) (500) (501) (502) (503) (504) (505) (506) (507) (508) (509) (510) (511) (512) (513) (514) (515) (516) (517) (518) (519) (520) (521) (522) (523) (524) (525) (526) (527) (528) (529) (530) (531) (532) (533) (534) (535) (536) (537) (538) (539) (540) (541) (542) (543) (544) (545) (546) (547) (548) (549) (550) (551) (552) (553) (554) (555) (556) (557) (558) (559) (560) (561) (562) (563) (564) (565) (566) (567) (568) (569) (570) (571) (572) (573) (574) (575) (576) (577) (578) (579) (580) (581) (582) (583) (584) (585) (586) (587) (588) (589) (590) (591) (592) (593) (594) (595) (596) (597) (598) (599) (600) (601) (602) (603) (604) (605) (606) (607) (608) (609) (610) (611) (612) (613) (614) (615) (616) (617) (618) (619) (620) (621) (622) (623) (624) (625) (626) (627) (628) (629) (630) (631) (632) (633) (634) (635) (636) (637) (638) (639) (640) (641) (642) (643) (644) (645) (646) (647) (648) (649) (650) (651) (652) (653) (654) (655) (656) (657) (658) (659) (660) (661) (662) (663) (664) (665) (666) (667) (668) (669) (670) (671) (672) (673) (674) (675) (676) (677) (678) (679) (680) (681) (682) (683) (684) (685) (686) (687) (688) (689) (690) (691) (692) (693) (694) (695) (696) (697) (698) (699) (700) (701) (702) (703) (704) (705) (706) (707) (708) (709) (710) (711) (712) (713) (714) (715) (716) (717) (718) (719) (720) (721) (722) (723) (724) (725) (726) (727) (728) (729) (730) (731) (732) (733) (734) (735) (736) (737) (738) (739) (740) (741) (742) (743) (744) (745) (746) (747) (748) (749) (750) (751) (752) (753) (754) (755) (756) (757) (758) (759) (760) (761) (762) (763) (764) (765) (766) (767) (768) (769) (770) (771) (772) (773) (774) (775) (776) (777) (778) (779) (780) (781) (782) (783) (784) (785) (786) (787) (788) (789) (790) (791) (792) (793) (794) (795) (796) (797) (798) (799) (800) (801) (802) (803) (804) (805) (806) (807) (808) (809) (810) (811) (812) (813) (814) (815) (816) (817) (818) (819) (820) (821) (822) (823) (824) (825) (826) (827) (828) (829) (830) (831) (832) (833) (834) (835) (836) (837) (838) (839) (840) (841) (842) (843) (844) (845) (846) (847) (848) (849) (850) (851) (852) (853) (854) (855) (856) (857) (858) (859) (860) (861) (862) (863) (864) (865) (866) (867) (868) (869) (870) (871) (872) (873) (874) (875) (876) (877) (878) (879) (880) (881) (882) (883) (884) (885) (886) (887) (888) (889) (890) (891) (892) (893) (894) (895) (896) (897) (898) (899) (900) (901) (902) (903) (904) (905) (906) (907) (908) (909) (910) (911) (912) (913) (914) (915) (916) (917) (918) (919) (920) (921) (922) (923) (924) (925) (926) (927) (928) (929) (930) (931) (932) (933) (934) (935) (936) (937) (938) (939) (940) (941) (942) (943) (944) (945) (946) (947) (948) (949) (950) (951) (952) (953) (954) (955) (956) (957) (958) (959) (960) (961) (962) (963) (964) (965) (966) (967) (968) (969) (970) (971) (972) (973) (974) (975) (976) (977) (978) (979) (980) (981) (982) (983) (984) (985) (986) (987) (988) (989) (990) (991) (992) (993) (994) (995) (996) (997) (998) (999) (1000) (1001) (1002) (1003) (1004) (1005) (1006) (1007) (1008) (1009) (1010) (1011) (1012) (1013) (1014) (1015) (1016) (1017) (1018) (1019) (1020) (1021) (1022) (1023) (1024) (1025) (1026) (1027) (1028) (1029) (1030) (1031) (1032) (1033) (1034) (1035) (1036) (1037) (1038) (1039) (1040) (1041) (1042) (1043) (1044) (1045) (1046) (1047) (1048) (1049) (1050) (1051) (1052) (1053) (1054) (1055) (1056) (1057) (1058) (1059) (1060) (1061) (1062) (1063) (1064) (1065) (1066) (1067) (1068) (1069) (1070) (1071) (1072) (1073) (1074) (1075) (1076) (1077) (1078) (1079) (1080) (1081) (1082) (1083) (1084) (1085) (1086) (1087) (1088) (1089) (1090) (1091) (1092) (1093) (1094) (1095) (1096) (1097) (1098) (1099) (1100) (1101) (1102) (1103) (1104) (1105) (1106) (1107) (1108) (1109) (1110) (1111) (1112) (1113) (1114) (1115) (1116) (1117) (1118) (1119) (1120) (1121) (1122) (1123) (1124) (1125) (1126) (1127) (1128) (1129) (1130) (1131) (1132) (1133) (1134) (1135) (1136) (1137) (1138) (1139) (1140) (1141) (1142) (1143) (1144) (1145) (1146) (1147) (1148) (1149) (1150) (1151) (1152) (1153) (1154) (1155) (1156) (1157) (1158) (1159) (1160) (1161) (1162) (1163) (1164) (1165) (1166) (1167) (1168) (1169) (1170) (1171) (1172) (1173) (1174) (1175) (1176) (1177) (1178) (1179) (1180) (1181) (1182) (1183) (1184) (1185) (1186) (1187) (1188) (1189) (1190) (1191) (1192) (1193) (1194) (1195) (1196) (1197) (1198) (1199) (1200) (1201) (1202) (1203) (1204) (1205) (1206) (1207) (1208) (1209) (1210) (1211) (1212) (1213) (1214) (1215) (1216) (1217) (1218) (1219) (1220) (1221) (1222) (1223) (1224) (1225) (1226) (1227) (1228) (1229) (1230) (1231) (1232) (1233) (1234) (1235) (1236) (1237) (1238) (1239) (1240) (1241) (1242) (1243) (1244) (1245) (1246) (1247) (1248) (1249) (1250) (1251) (1252) (1253) (1254) (1255) (1256) (1257) (1258) (1259) (1260) (1261) (1262) (1263) (1264) (1265) (1266) (1267) (1268) (1269) (1270) (1271) (1272) (1273) (1274) (1275) (1276) (1277) (1278) (1279) (1280) (1281) (1282) (1283) (1284) (1285) (1286) (1287) (1288) (1289) (1290) (1291) (1292) (1293) (1294) (1295) (1296) (1297) (1298) (1299) (1300) (1301) (1302) (1303) (1304) (1305) (1306) (1307) (1308) (1309) (1310) (1311) (1312) (1313) (1314) (1315) (1316) (1317) (1318) (1319) (1320) (1321) (1322) (1323) (1324) (1325) (1326) (1327) (1328) (1329) (1330) (1331) (1332) (1333) (1334) (1335) (1336) (1337) (1338) (1339) (1340) (1341) (1342) (1343) (1344) (1345) (1346) (1347) (1348) (1349) (1350) (1351) (1352) (1353) (1354) (1355) (1356) (1357) (1358) (1359) (1360) (1361) (1362) (1363) (1364) (1365) (1366) (1367) (1368) (1369) (1370) (1371) (1372) (1373) (1374) (1375) (1376) (1377) (1378) (1379) (1380) (1381) (1382) (1383) (1384) (1385) (1386) (1387) (1388) (1389) (1390) (1391) (1392) (1393) (1394) (1395) (1396) (1397) (1398) (1399) (1400) (1401) (1402) (1403) (1404) (1405) (1406) (1407) (1408) (1409) (1410) (1411) (1412) (1413) (1414) (1415) (1416) (1417) (1418) (1419) (1420) (1421) (1422) (1423) (1424) (1425) (1426) (1427) (1428) (1429) (1430) (1431) (1432) (1433) (1434) (1435) (1436) (1437) (1438) (1439) (1440) (1441) (1442) (1443) (1444) (1445) (1446) (1447) (1448) (1449) (1450) (1451) (1452) (1453) (1454) (1455) (1456) (1457) (1458) (1459) (1460) (1461) (1462) (1463) (1464) (1465) (1466) (1467) (1468) (1469) (1470) (1471) (1472) (1473) (1474) (1475) (1476) (1477) (1478) (1479) (1480) (1481) (1482) (1483) (1484) (1485) (1486) (1487) (1488) (1489) (1490) (1491) (1492) (1493) (1494) (1495) (1496) (1497) (1498) (1499) (1500) (1501) (1502) (1503) (1504) (1505) (1506) (1507) (1508) (1509) (1510) (1511) (1512) (1513) (1514) (1515) (1516) (1517) (1518) (1519) (1520) (1521) (1522) (1523) (1524) (1525) (1526) (1527) (1528) (1529) (1530) (1531) (1532) (1533) (1534) (1535) (1536) (1537) (1538) (1539) (1540) (1541) (1542) (1543) (1544) (1545) (1546) (1547) (1548) (1549) (1550) (1551) (1552) (1553) (1554) (1555) (1556) (1557) (1558) (1559) (1560) (1561) (1562) (1563) (1564) (1565) (1566) (1567) (1568) (1569) (1570) (1571) (1572) (1573) (1574) (1575) (1576) (1577) (1578) (1579) (1580) (1581) (1582) (1583) (1584) (1585) (1586) (1587) (1588) (1589) (1590) (1591) (1592) (1593) (1594) (1595) (1596) (1597) (1598) (1599) (1600) (1601) (1602) (1603) (1604) (1605) (1606) (1607) (1608) (1609) (1610) (1611) (1612) (1613) (1614) (1615) (1616) (1617) (1618) (1619) (1620) (1621) (1622) (1623) (1624) (1625) (1626) (1627) (1628) (1629) (1630) (1631) (1632) (1633) (1634) (1635) (1636) (1637) (1638) (1639) (1640) (1641) (1642) (1643) (1644) (1645) (1646) (1647) (1648) (1649) (1650) (1651) (1652) (1653) (1654) (1655) (1656) (1657) (1658) (1659) (1660) (1661) (1662) (1663) (1664) (1665) (1666) (1667) (1668) (1669) (1670) (1671) (1672) (1673) (1674) (1675) (1676) (1677) (1678) (1679) (1680) (1681) (1682) (1683) (1684) (1685) (1686) (1687) (1688) (1689) (1690) (1691) (1692) (1693) (1694) (1695) (1696) (1697) (1698) (1699) (1700) (1701) (1702) (1703) (1704) (1705) (1706) (1707) (1708) (1709) (1710) (1711) (1712) (1713) (1714) (1715) (1716) (1717) (1718) (1719) (1720) (1721) (1722) (1723) (1724) (1725) (1726) (1727) (1728) (1729) (1730) (1731) (1732) (1733) (1734) (1735) (1736) (1737) (1738) (1739) (1740) (1741) (1742) (1743) (1744) (1745) (1746) (1747) (1748) (1749) (1750) (1751) (1752) (1753) (1754) (1755) (1756) (1757) (1758) (1759) (1760) (1761) (1762) (1763) (1764) (1765) (1766) (1767) (1768) (1769) (1770) (1771) (1772) (1773) (1774) (1775) (1776) (1777) (1778) (1779) (1780) (1781) (1782) (1783) (1784) (1785) (1786) (1787) (1788) (1789) (1790) (1791) (1792) (1793) (1794) (1795) (1796) (1797) (1798) (1799) (1800) (1801) (1802) (1803) (1804) (1805) (1806) (1807) (1808) (1809) (1810) (1811) (1812) (1813) (1814) (1815) (1816) (1817) (1818) (1819) (1820) (1821) (1822) (1823) (1824) (1825) (1826) (1827) (1828) (1829) (1830) (1831) (1832) (1833) (1834) (1835) (1836) (1837) (1838) (1839) (1840) (1841) (1842) (1843) (1844) (1845) (1846) (1847) (1848) (1849) (1850) (1851) (1852) (1853) (1854) (1855) (1856) (1857) (1858) (1859) (1860) (1861) (1862) (1863) (1864) (1865) (1866) (1867) (1868) (1869) (1870) (1871) (1872) (1873) (1874) (1875) (1876) (1877) (1878) (1879) (1880) (1881) (1882) (1883) (1884) (1885) (1886) (1887) (1888) (1889) (1890) (1891) (1892) (1893) (1894) (1895) (1896) (1897) (1898) (1899) (1900) (1901) (1902) (1903) (1904) (1905) (1906) (1907) (1908) (1909) (1910) (1911) (1912) (1913) (1914) (1915) (1916) (1917) (1918) (1919) (1920) (1921) (1922) (1923) (1924) (1925) (1926) (1927) (1928) (1929) (1930) (1931) (1932) (1933) (1934) (1935) (1936) (1937) (1938) (1939) (1940) (1941) (1942) (1943) (1944) (1945) (1946) (1947) (1948) (1949) (1950) (1951) (1952) (1953) (1954) (1955) (1956) (1957) (1958) (1959) (1960) (1961) (1962) (1963) (1964) (1965) (1966) (1967) (1968) (1969) (1970) (1971) (1972) (1973) (1974) (1975) (1976) (1977) (1978) (1979) (1980) (1981) (1982) (1983) (1984) (1985) (1986) (1987) (1988) (1989) (1990) (1991) (1992) (1993) (1994) (1995) (1996) (1997) (1998) (1999) (2000) (2001) (2002) (2003) (2004) (2005) (2006) (2007) (2008) (2009) (2010) (2011) (2012) (2013) (2014) (2015) (2016) (2017) (2018) (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) (2025) (2026) (2027) (2028) (2029) (2030) (2031) (2032) (2033) (2034) (2035) (2036) (2037) (2038) (2039) (2040) (2041) (2042) (2043) (2044) (2045) (2046) (2047) (2048) (2049) (2050) (2051) (2052) (2053) (2054) (2055) (2056) (2057) (2058) (2059) (2060) (2061) (2062) (2063) (2064) (2065) (2066) (2067) (2068) (2069) (2070) (2071) (2072) (2073) (2074) (2075) (2076) (2077) (2078) (2079) (2080) (2081) (2082) (2083) (2084) (2085) (2086)	

IV 仮説の検証

研究仮説に基づき、ICTを活用し、「話すこと」を意識した学習指導において、発信力を伴う英語力を育成できたかを生徒が投稿した課題、CAN-DO リストによる自己評価、ルーブリック評価に基づくパフォーマンステスト結果、事後アンケートを基に検証する。

1 ICTを活用した、3つの学習の型は発信力を伴う英語力育成に有効であったか

本研究において、「話すこと」を意識し、発信する力を育成するための授業工夫として、ICTを活用して学習した内容を内在化させ、自分の考えを整理し、やりとり、発表できる場の設定を行うことで、発信力を伴う英語力の育成に有効であったかを検証した。

(1) インタラクティブコンテンツ、Seesaw の活用

Seesaw では、教科書の内容を要約し、自分の言葉で再話、発話するリテリングを録音、録画し、各自の端末から投稿（図5）した。生徒は、日本や海外の制服事情を読み進めながら、文化的背景を知り、制服の是非について、学習した語彙や表現を使用し、本文内容について自分の考えをまとめ、聞き手を意識して発信を行った。50 分の授業時間で、発信内容の書き起こし（図6）から、投稿までを自分の学習状況の進度にあわせて行うことができた。生徒たちの感想（表4）からも、「納得がいくまで撮り直しができる」「あとから見直すことができる」など、発信内容について、質の高さを求めた様子が分かる。リテリング活動を Seesaw で行うことで、全員が自分自身の英語と向き合い、「話すこと」を強く意識し、発信することができた。また、要約や英文課題としてのジャーナル（英文）作成など、リテリング以外にも、Seesaw に学習内容を投稿する場が増え、英語を発信する機会が最大化されたことにより、発信力を伴う英語力育成に Seesaw は有効であったと考える。

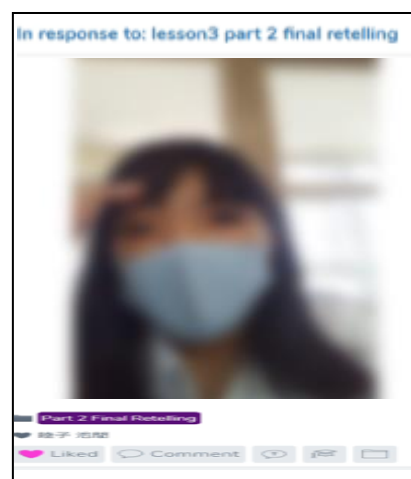


図5 リテリング投稿

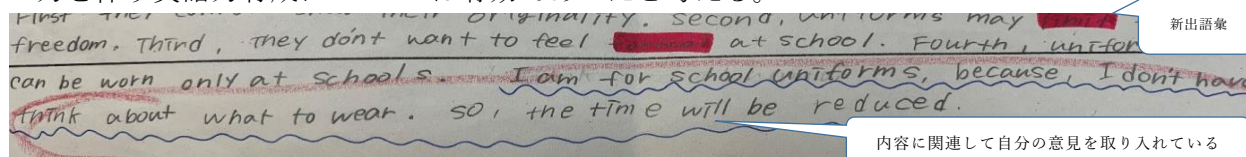


図6 ワークシートへの書き込みによる Seesaw 発表前の準備の様子

表4 Seesaw を活用した活動の生徒感想

- 自分が納得いくまで撮り直しができる。 ●失敗しても撮り直しができる。 ●あとから見直すこともできる。
- 先生と1対1は、時間制限もあって緊張するけど、Seesaw は自分のペースでできる。
- 対人での会話だと緊張して、うまく言葉が出ないが、seesaw だと緊張しない。
- 緊張感も少なく自分の意見、思っていることが言いやすい。
- ▲自分的には Seesaw もいいけど、将来のことを考えると、直接話す機会のほうが多いと思う。
- ▲英語に慣れるためにも、先生と話すほうがいいと思う。

(2) デジタルポートフォリオとしての、教育用SNSとしての Seesaw の活用

Seesaw に投稿され、デジタルポートフォリオに保存されている課題（図7）は、新出語彙表現、文法を使用したジャーナル（英文）である。生徒は Seesaw の Note に書き出しを行い、音声と一緒に投稿し、教師も音声と文字で内容に対する助言を行い、双方向でのやり取りができた。また、クラスでの課題の一斉閲覧により、他者投稿との比較、分析、新しい表現の発見ができた。生徒たちは自分の投稿が閲覧されるということを意識して、完成度の高い課題投稿の準備と練習をしており、何度も録音録画の撮り直しをする様子が確認できた。デジタルポートフォリオとしての活用により、生徒の学びの見取り、生徒自身の学びの振り返りができたことで、自身の英語力強化につながったと考える。

教育用 SNS としての Seesaw では、生徒たちは他者からの評価、承認を意識し、課題に取り組んだ（図 8）。自身の課題の完成度に充足感を得られない場合、投稿後であっても、教師に課題の再作成、再投稿の許可を求める生徒もいた。それは成績への反映という理由の他に、他者からの承認欲求が生徒たちの学習意欲に影響を与えたと考える。Seesaw を活用した一連の学習は、語彙表現や文法などの知識技能を活用し、要約・ジャーナル、リテリングなど、目的に応じた表現の場が増え、それに伴う主体的な学習により、自分の言葉で発信する、発信力を伴う英語力育成に効果的であったと考える。



図 7 デジタルポートフォリオの実際



図 8 教育用 SNS 承認の実際

(3) Zoom を活用した遠隔交流学習

Zoom を活用した遠隔交流学習では、一人一人の生徒が F V H の生徒と実践的なコミュニケーションを図った。それぞれの生徒が、「どうやって伝えるか、どうやったら伝わるか」ということに集中した（図 9）。交流後のアンケートでは、生徒たちの 92% が、全 5 回の交流を「楽しかった」と回答した。また、「交流で楽しかったことは何か」の質問に半数が「練習の合間の会話」と答えた（図 10）。交流中、自分のことや家族のこと、好きなアニメのキャラクターについて必死に説明するなど、会話を楽しむ生徒たちの姿が見られた。また、F V H の生徒が話す英語を聞いて、自分の話す英語の間違いに気付き、訂正する場面もあるなど、生徒たちは実践的な経験をする中で、学習したことを定着させることができ、発信することにつながったと考える。さらに、「交流後、英語学習への取り組みに変化はあるか」との問いに 90%（36 名）が「はい、前向きに取り組めるようになった」と回答した（図 11）。交流学習を経験後、生徒たちが主体的に英語学習の取り組めるようになったという変容が分かる。さらに、本単元の目標である、「制服について自分の考えをまとめ、伝えることができたか」という質問には 37 名（92%）の生徒が



図 9 Zoom による FVH 交流学習の様子

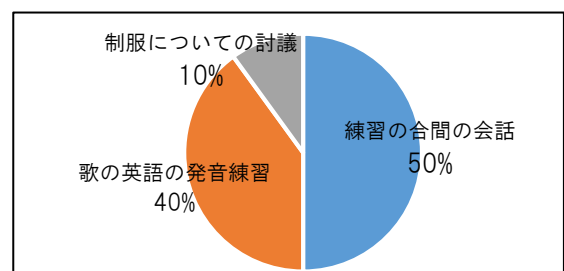


図 10 交流学習のでいちばん楽しかったのは

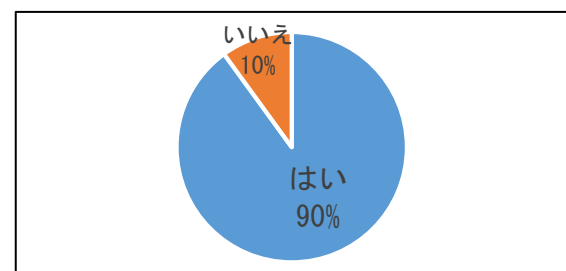


図 11 英語学習への取り組みに変化はあるか

伝えることができた」と回答した
(図 12)。「F V H の生徒たちは自
分の考えを理解したと思うか」

(図 13) の質問には 38 名 (95%)
が「理解した」「多分理解した」と
回答があったことにより、オンラ
イン上ではあるが、実際のコミュニ
ケーションにより、互いの立場
や考えに共感できた結果であると
考える。さらに、F V H との交流授
業感想 (自由記述) テキストマイニング (図

14) から、生徒たちは交流を通して、「英語が
話せる」「英語ができる」「英語が通じる」「伝
わる」という実感と成功体験を得たことが伺
える。

オンラインでの交流活動では、教師と生徒
双方が機器操作について、把握することが重
要であるという課題も見つかった。機器トラ
ブルが発生した場合、それに対応するスキル
がなければ、そこで交流自体が止まっていま
う。貴重な交流時間の確保のために、機器操作スキルを身に付けることが必要である。

今回の交流では、生徒たちの間から、言葉の壁を越えた、「伝えたい、知りたい」という、互
いの思いと熱量を感じることができた。海外には日本語を学ぶ英語圏の生徒が多く存在して
おり、交流に積極的である。また、グアム、オーストラリア、ニュージーランドは時差が 2 時間
程度である。日本語を学んでいる生徒たちや時差の影響が少ない英語圏の国であれば、今後も
遠隔交流学习を継続させていくことは可能と考える。

生徒たちは学習した知識・技能を活用し、主体的に英語によるコミュニケーションができた
ことから、I C T を活用した交流学习において、発信力を伴う英語力を育成することに有効な
手立てであったといえるだろう。

2 CAN-DO リストとパフォーマンステストにおけるループリック評価について

I C T を活用した学習が発信力を伴う
英語力育成に有効であったかを CAN-DO リ
スト (表 2) による生徒自己評価とループ
リック評価におけるパフォーマンステス
トの結果から検証を行った。

CAN-DO リストによる生徒自己評価、「家
族、毎日の習慣や日課について質問し答え
ることができる」(図 15) では、検証前「よ
くできる・できる」と回答した生徒は 17 名
(42%) であったが、検証後は 26 名 (64%)
となり、22 ポイント増加した。生徒たちが
毎時間、「家族や友達、好きな事柄」につい
て伝え合う活動を活発に行ってきた結果
であると考え。「自分の意見や気持ちの
やりとり、賛成や反対などの自分の意思を

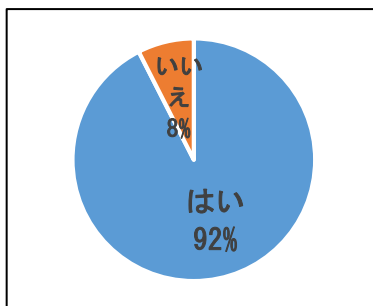


図 12 制服について自分の考えを伝えることができた

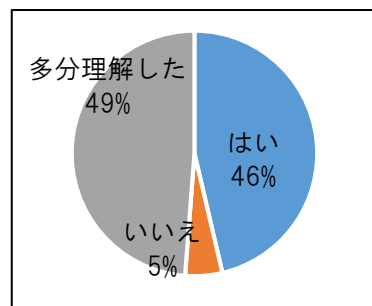


図 13 FVH の生徒は自分の考えを理解したと思うか



図 14 交流授業感想テキストマイニング結果

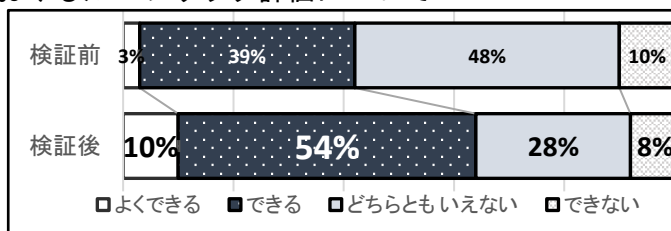


図 15 家族や毎日の習慣や日課、好きなことなど個人的なトピックについて質問し、質問に答えることができる

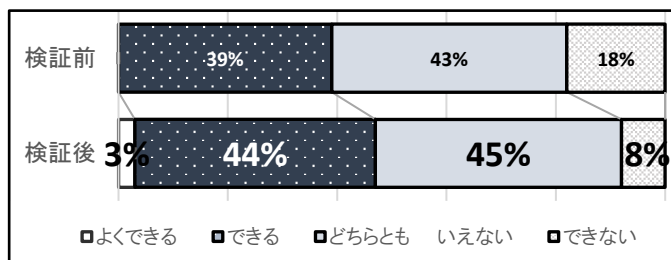


図 16 自分の意見を伝え、物や人について説明できる

伝え、物や人について説明できる」(図 16)の質問に「できる」との回答は検証前 16 名 (39%) で、検証後は 8 ポイントと上昇した 19 名 (47%) であった。賛成や反対を伝えるというのは、日頃から問題意識をもち、学習内容に取り組む姿勢も必要となることから、生徒たちにとって難しい側面もあったと考えられる。

ループリックによる評価では、「English」「Contents」「Presentation」、3つの観点を基にパフォーマンステストを実施した。「English」の評価項目の1つである「語彙数」(図 17)では、レベルごとに使用語彙数が示されており、生徒はそれを強く意識し、発表を行った。A評価 60 語以上を使用し、発表した生徒は Part 2 では、20 名 (50%) で、Part 3 では 35 ポイント増の 34 名 (85%)、Part 4 では 20 ポイント増の 28 名 (70%) となった。

「Content」内容理解(図 18)では、生徒が本文内容を十分に理解し、単元で学習した語彙や文法を使い、メインピックについて説明をした。

Part 2 ではA評価 13 名 (33%)、Part 4 では 27 ポイント増の 24 名 (60%) であった。学習したことを内在化させ、自分の言葉に置き換えて、話すことから、生徒が最も苦手とする評価だが、Part 3 から Part 4 ではB評価の生徒が 30 ポイント減り、A評価が 25 ポイント増えた。Seesaw や交流学習で学習したことや自分の言葉で発信する場が増え、継続された活動となったことで、苦手としていることが改善されたと考える。さらに、

オリジナリティ(図 19)では、Part 2 から Part 4 のA評価は 15 ポイント増えたものの、C評価が Part 2 では 25 ポイント、Part 3 では 20 ポイント増えている。発表内容に新情報または、理由を伴う自分独自の考えを挿入することを指示したことで、難易度が上がったことが原因であると考えられる。C評価の生徒は事実のみを伝えるだけで、「なぜ、そのような考えにたどりついたのか。」という、「理由」部分に焦点を絞ることができていなかった。C評価層を上位層に移行させるために、根拠に基づいた意見の構築を習慣化させると同時に、教科書だけに留まらず、内容に関連した事象を取り上げた新たな教材など、インプット学習の充実を図ることで、内容に対する考え

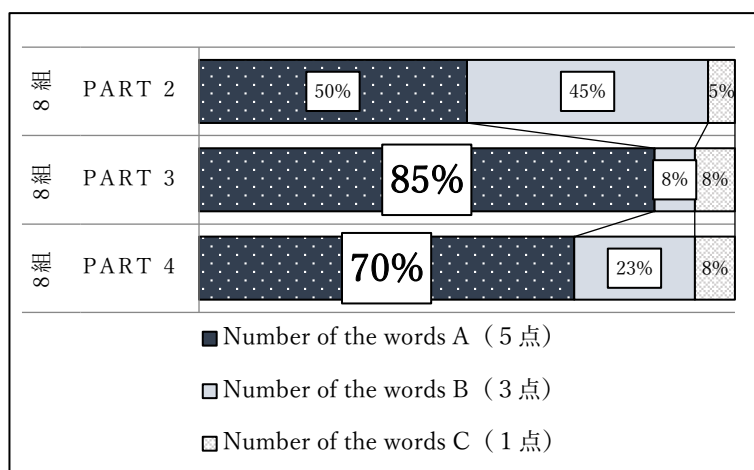


図 17 パフォーマンステスト結果 (ENGLISH 語彙数)

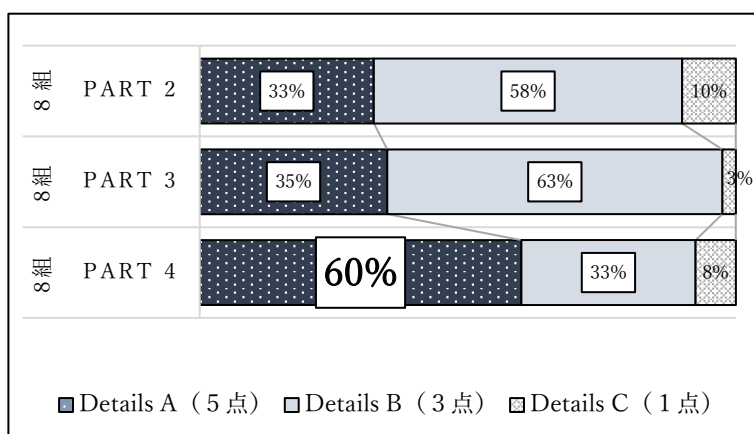


図 18 パフォーマンステスト結果 (CONTENTS 内容理解)

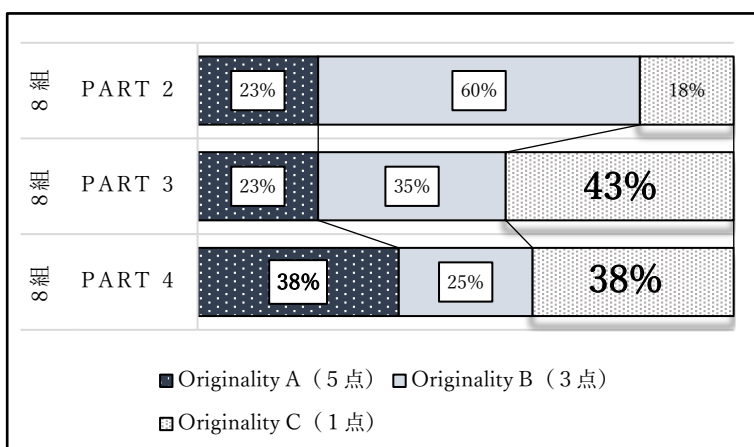


図 19 パフォーマンステスト結果 (CONTENTS オリジナリティ)

や思いを深めることができるように、指導の工夫が必要であると考え。

以上のことから、生徒は CAN-DO リストを活用した活動の振り返りによって、単元で求められる英語力について、達成状況を把握できた。さらに、これまで評価指標が曖昧であったパフォーマンステストが、ルーブリックを活用することで、達成すべきレベルが明確になり、生徒自身の現在の英語レベルが明らかになった。また、自分の学習について振り返りができたことで、改善点があり、高い学習意識につながったと考える。今後は新学習指導要領の下、英語発信力の強化が図られる。その測定に際し、ルーブリックを活用した評価を行うことで、評価の根拠を示すことができる。

3 事後アンケートからの考察

「授業中における生徒の英語使用率」(図 20)において「授業・言語活動の 50%以上で英語を使った」という生徒は検証前の 17 名 (43%) から、検証後は 23 名 (58 %) と 15 ポイント増えた。また、「授業で英語を使うことがほとんどなかった」という生徒は半減したことも分かる。Seesaw や Zoom など、I C Tを活用したことで、英語で自分の考えを表現し伝える場が増えた結果、英語使用率が上がった。さらに、I C Tを活用した授業感想テキストマイニング結果(図 21)によると、「楽しい」「できる」「交流」「覚える」などの肯定的な語句が並び、生徒たちが主体的に学習に取り組めたことが分かる。I C T活用によって、授業の中で、生徒たちが自分の考えや気持ちを「話す」機会が増えたことで、より強く英語を意識して「話すこと」ができた。I C Tを活用し、「話すこと」を意識した学習活動は、発信力を伴う英語力育成に効果的な手立てであったと考える。

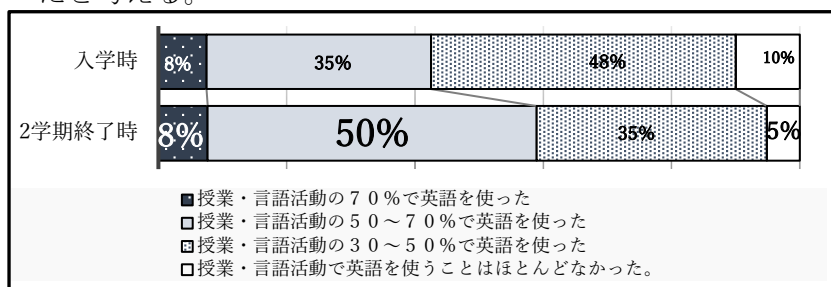


図 20 授業における生徒英語使用率



図 21 ICTを活用した授業
感想テキストマイニング結果

V 成果と課題

1 成果

- (1) I C T活用により、「話す」ことを手立てとした学習活動を通し、学習した内容や情報を整理し、自分の考えや意見をまとめ、英語で伝えることができる発信力を伴う英語力が育成された。
- (2) CAN-DO リストやルーブリックを基にしたパフォーマンステストにより、目標と評価が可視化されたことで、生徒たちは自分自身の英語力の把握が可能となり、次の目標への学習意欲へとつながった。
- (3) 交流学习では、実践的な経験をすることで、生徒たちは英語を話すことへの心理的ハードルが下がり、間違いを恐れず、会話を楽しむことができ、自信へとつながった。

2 課題

- (1) 交流学习では、生徒の困り感を把握することが難しい。生徒たちの学習の見とりについて、方法を検討していくことが課題である。
- (2) 交流授業を通して、個人的に交流を続けていきたいと考える生徒も出てくると考えられる。情報モラル教育の徹底を行い、生徒個人で交流を希望する場合には、各家庭における見守りと協力が必要である。
- (3) 発信力を伴う英語力育成のために、さらなるインプット学習の充実とアウトプット学習の統合的な指導の工夫が必要である。

〈参考文献〉

- 国立教育政策研究所 2020 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校英語
英語教育 2020 May Vol.69 No.2・February Vol.68 No.12 TAISHUKAN
堀田龍也 2020 『PC1 人1 台時代の間違えない学校 I C T』 小学館
英語教育 2019 August Vol.68 No.5 October Vol.68 No.7 December Vol.68 No.10 TAISHUKAN
金谷憲 2019 英語スピーキング力はどう伸びるのか アルク選書
上山晋平・佐々木紀人 2018 英語4技能統合型指導&評価ガイドブック 明治図書
文部科学省 2018 『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 外国語編 英語編』
文部科学省 2017 英語力調査結果（高校3年生）の概要
上山晋平 2016 英語教師のためのアクティブラーニングガイドブック 明治図書
佐藤一嘉 2016 英語授業を変えるパフォーマンステスト 明治図書
長谷川元洋 2016 無理なくできる学校の ICT 活用
東京外国語大学投野由紀夫研究室 2012 CEFR-J を活用するための ‘Can Do’ Descriptor リスト
新興出版社啓林館発行 Revised LANDMARK E.C.1 Teacher’s Manual 付属 DVD 収録の CAN-DO リストのうち、Lesson3
に関する内容及び Revised LANDMARK E.C.1 Lesson 3 本文一部掲載

〈参考 WEB サイト〉

- Self-assessment Grids(CEFR) (最終閲覧 2020 年 9 月)
<https://www.coe.int/en/web/portfolio/self-assessment-grid> 最終閲覧 2020 年 9 月)
小学校英語教育は「場所」の壁を越えられるか？遠隔授業の可能性
<https://bilingualscience.com/english/> (最終閲覧 2020 年 9 月)
WorldView Speaking rubric for fluency activities
<http://www.pearsonlongman.com/ae/worldview/wvvideospeakingrubric.pdf> (最終閲覧 2020 年 9 月)
CEFR を学ぶ【勉強の成果を測る】
<http://manabi-skillup.com/?p=1460> (最終閲覧 2020 年 8 月)
文部科学省 2014 英語教育における ICT の活用
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/102/shiryo/iscFiles/afieldfile/2014/06/26/1348388_06
6 (最終閲覧 2020 年 6 月)
文部科学省 2013 外国語教育における「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標設定のための手引き
http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1332306.htm (最終閲覧 2020 年 6 月)
British Council CAN-DO リストを活用した学習到達目標設定と評価
<https://www.britishcouncil.jp/programmes/english-education/japan/report/can-do-list> (最終閲覧 2020 年 6 月)
世界が求める英語とは～英語を話したくなる教育モデル～
<http://www.chieru-magazine.net/special/enty-30020.html> (最終閲覧 2020 年 6 月)
東京外国語大学 投野由紀夫研究室 2020 CEFR-J 新しい日本の英語教育の汎用枠
<http://www.cefr-j.org/cefrj.html> (最終閲覧 2020 年 6 月)
文部科学省 平成 29 年度英語教育改善のための英語力調査事業報告
https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/_icsFiles/afieldfile/2018/04/06/1403470_03_1.pdf
いま、ビジネスシーンで求められる「英語発信力」とは
<http://president.jp/articles/-/20719> (最終閲覧 2020 年 6 月)